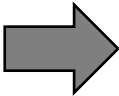


焼岳の噴火警戒レベル判定基準の主な変更点

地震や地殻変動の活動活発化事例(2022 年、2024 年、2025 年)で蓄積された知見に基づき、レベル2の判定基準を改定しました。

現行

レベル	当該レベルへの引上げの基準
2	【想定火口から概ね 1 km 以内の範囲に影響を及ぼす噴火の可能性】 ・ 想定火口付近の浅部を震源とする火山性地震の増加 ➢ 任意の 24 時間で 50 回以上又は 10 日間で 100 回以上 ・ 下記の観測項目で複数項目が該当する場合 ➢ 上記の基準に達しない程度の浅部を震源とする火山性地震の増加 ➢ 想定火口付近の浅部の膨張を示す地殻変動 ➢ 火山性微動の発生 ➢ 噴気活動の活発化、噴気地帯の拡大や出現 【想定火口から概ね 1 km 以内の範囲に影響を及ぼす噴火の発生】 ・ 噴火が発生し、大きな噴石が想定火口から概ね 1 km 以内の範囲に飛散 (想定火口内に影響する程度の噴火を含む)



改定後

レベル	当該レベルへの引上げの基準
2	【想定火口から概ね 1 km 以内の範囲に影響を及ぼす噴火の可能性】 ・ 想定火口付近の浅部を震源とする火山性地震の増加 ➢ 任意の 24 時間で 50 回以上又は 10 日間で 100 回以上 ・ 下記の観測項目で複数項目が該当する場合 ➢ 上記の基準に達しない程度の浅部を震源とする火山性地震の増加 ➢ 想定火口付近の浅部の膨張を示す地殻変動 (長期的な変動を除く) ➢ 火山性微動の発生 ➢ 噴気活動の活発化、噴気地帯の拡大や出現 【想定火口から概ね 1 km 以内の範囲に影響を及ぼす噴火の発生】 ・ 噴火が発生し、大きな噴石が想定火口から概ね 1 km 以内の範囲に飛散 (想定火口内に影響する程度の噴火を含む)